

# 平成30年度 事務事業マネジメントシート

事業名	本部・署庁舎管理事業				会計	款	項	目	大	小
政 策	02	2節	生活の豊かさを実感できる流山（生活環境の整備）	主管課	消防総務課					
施 策	2-3	自然災害・都市災害への備えと予防			主管課長	須藤 恭成				

## I 事務事業の目的・内容

事業目的	対象	消防職員	意図	良好な執務環境を維持する
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・消防庁舎を定期的に点検</li> <li>・不良箇所の修繕</li> <li>・庁舎清掃業務委託</li> </ul>			
事業開始から現在までの状況変化	昭和40年代は、団員数460人を超えていたが、現在は、全国的に団員数の減少が続いており、待遇改善や研修等を充実させて消防団員の確保を図っていく。			

## II 事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	名称	平成28年度	平成29年度	平成30年度	単位	目標方向	算定式（成果指標の場合）
	①	点検及び修理回数	36	34	34	回	→→
②							
③							
④							
⑤							
⑥							

  

指標で表すことができない定性的な成果				目的に対する現状（客観的事実・データに基づく現在の状況や取組状況） 老朽化が著しいため、庁舎や設備の修繕件数は今後も増加すると見込まれる。
事務事業のコスト	平成28年度	平成29年度	平成30年度	
事務事業の総コスト(a=b+c)	14,020,156	13,042,573	7,381,552	
事業費(b)(円)	9,901,156	9,015,373	4,085,552	
うち一般財源	9,901,156	9,015,373	4,085,552	
職員給与費(c)(円)	4,119,000	4,027,200	3,296,000	
人役・職員(人)	0.60	0.60	0.50	
人役・再任用(人)				
人役・臨職(人)				
人役・嘱託(人)				
初期投資コスト(円)（建設又は取得年度のみ記入）				
想定耐用年数（年）（建設又は取得年度のみ記入）				

## III 事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善 <※主管課長記入>

### (1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	A 必要性が高まると考えられる	有効性	目標達成度	A 達成できた
		市関与の必要性	A 市が担うべき	効率性	対象者の適切性	A 対象者は適切である
				コストの削減	A 削減の余地はない	
総合評価	II 継続（事業を現状どおり継続すべき）					

### (2) 事務事業の業務改善について

①H30当初の改善計画(Plan)	庁舎管理委託業者と話し合い庁舎の修繕箇所を洗い出す。	③取組における課題(Check)	安全かつ衛生的な執務環境を目指す。
②H30に実施した取組(Do)	庁舎にかかる修繕清掃業務委託	④課題に対する今後(H31～)の改善計画(Action)	早期に修繕箇所を洗い出し大事に至る前段での対応